

## 3・2 アジア船主協会（ASA）

ASA は、1992 年に第 1 回総会（当協会主催）を開催して以来、メンバー国／地域の船主協会が北から南の順で毎年議長を回り持ちしながら総会を開催するとともに、毎年の年次総会の間には 5 つの常設委員会（船員(SC)、船舶保険・法務(SILC)、航行安全・環境(SNEC)、海運政策(SPC)、シップリサイクリング(SRC)) の中間会合が夫々行われている。5 つの常設委員会の構成および各委員会への当協会代表（2022 年 5 月 19 日時点）は【資料 3-2-1】のとおりである。

### 3・2・1 ASA 総会

第 31 回 ASA 総会は韓国船協の主催により、2022 年 5 月 19 日に開催された。当初、ソウルでの対面会合が検討されていたものの、新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う海外渡航制限により、前年に続き参加者を限定したオンライン開催となった。当協会から池田潤一郎会長、友田圭司副会長、森重俊也理事長らが出席した他、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN、豪州の各船協代表が参加した。同総会では、前年度決算・当該年度予算や次期正副会長等、ASA の組織に関する事項が審議・了承された他、各委員会委員長より 1 年間の活動概要が報告され、総会終了後には、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う船員交代問題、海運における脱炭素、運河通航料金、シップリサイクル、海賊問題等に関する ASA の意見をまとめたプレスリリース（[こちら](#)）が公表された。次回第 32 回総会は、定款の定め（議長回り持ち）により中国船協の主催により同国で開催予定となっている。

### 3・2・2 ASA 会長会議

ASA 加盟船協会長で構成される ASA 会長会議は、2022 年 5 月 19 日（第 31 回総会と併催）および同年 10 月 13 日に夫々オンラインで開催された。

5 月の第 30 回会長会議では、2021 年決算をはじめとする ASA の業務運営に関わる問題について意見交換されたほか、2021 年 6 月以降、当協会が主導する、ASA 活動活性化に向けた臨時 WG（メンバーは各メンバー事務局長級）での検討状況（対外発信拡充に向けた対応策）が確認された他、2022 年末までとなっていた園田 ASA 事務局長（元当協会常務理事）の任期を一年延長（2023 年末）することが了承された。

10 月の第 31 回会長会議では ASA 活動活性化に向けて臨時 WG が取り纏めた対応策として、賛助会員拡大に向けた取り組み、ASA 価値向上のために必要な具体策（例：2023 年 4 月のシンガポール海事週間期間中に ASA 主催イベントを実施）の更なる検討等が了承された。なお、当協会が提案した常設委員会委員長会合（各常設委員会活動強化等の検討を目的）開催も合意されている。その他、2023 年予算案をはじめとする業務運営に係る事務局提案が了承された。

### 3・2・3 各委員会における活動状況

### 3・2・3・1 海運政策委員会（SPC）中間会合

当協会友田副会長が委員長を務める海運政策委員会（Shipping Policy Committee: SPC）は、第 34 回 中間会合を 2022 年 4 月 18 日にコロナ禍の影響で他常設委員会と同様にオンラインで行う一方、第 35 回中間会合については 3 年越しの対面会合を 9 月 5 日にシンガポールで開催した（各中間会合のプレスリリースについては以下参照）。

第 34 回中間会合：[プレスリリース](#)

第 35 回中間会合：[プレスリリース](#)

### 3・2・3・2 船員委員会（SC）中間会合

船員委員会（Seafarers Committee : SC）は Han Chao 委員長（中国船協）のもと、第 27 回中間会合を、2022 年 4 月 21 日にオンラインで開催し、中国、台湾、香港、日本、ASEAN の各船協が参加した。各国の船員確保の状況、STCW や ILO MLC 等の関係条約、コロナ禍下での船員交代状況、乗船中のメンタルヘルスやスマート・ SHIPPING 化に伴う船員への影響について意見交換が行われた。

### 3・2・3・3 船舶保険・法務委員会（SILC）中間会合

船舶保険・法務委員会（Ship Insurance and Liability Committee : SILC）は Richard Hext 委員長（香港船協）のもと、第 28 回中間会合を 2023 年 3 月 31 日にオンラインで開催し、日本、中国、香港、韓国、ASEAN の各船協が出席した。対ロシア制裁に関する情報共有が行われたほか、ロシアによるウクライナ侵攻を受け同国海域の戦争保険付保が困難化していることに懸念を共有した。また、豪州政府が提案している船主の責任制限限度額改正を視野に入れた事故データの収集に関しては、自国関係政府と協議していく方針を確認。その他、HNS 条約、英国の最低賃金問題、自動運航船や海賊問題について情報が共有された。

第 28 回中間会合：[プレスリリース](#)

### 3・2・3・4 航行安全・環境委員会（SNEC）中間会合

航行安全・環境委員会（Safe Navigation and Environment Committee : SNEC）は Caroline Yang 委員長（ASEAN（シンガポール）船協）のもと、第 40 回中間会合を 2023 年 5 月 2 日に開催予定。

### 3・2・3・5 シップリサイクリング委員会（SRC）中間会合

シップリサイクリング委員会（Ship Recycling Committee : SRC）は第 26 回中間会合を 2023 年 4 月にオンラインで開催予定。

ASA 5 つの常設委員会および当協会代表

● **委員会**

- ・ 以下 5 つの常設委員会を設置。原則として年次総会の際に中間会合を開催。

船員 (Seafarers Committee : SC)

委員長 : Mr Han Chao (中国船協)

※当協会代表 : 長澤 仁志 副会長

事務局 : 中国船協

船舶保険・法務 (Ship Insurance and Liability Committee : SILC)

委員長 : Mr Richard Hext (香港船協)

※当協会代表 : 明珍 幸一 副会長

事務局 : 香港船協

航行安全・環境 (Safe Navigation and Environment Committee : SNEC)

委員長 : Ms Caroline Yang (シンガポール船協会長)

※当協会代表 : 當舎裕己 理事

事務局 : シンガポール船協

海運政策 (Shipping Policy Committee : SPC)

委員長 : 友田圭司 副会長

事務局 : 日本船協

シップリサイクリング (Ship Recycling Committee : SRC)

委員長 : Dr Ron Huang (台湾船協)

※副委員長 : 廣瀬 隆史 副会長

事務局 : 台湾船協

以上